

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成

波佐見中学校学校便り

第16号

編集・発行

波佐見中学校

校長 池本敦司

ウェイブホールに響く感謝の音色

波佐見中学校第27回定期演奏会

9月15日(日)に波佐見町総合文化会館(ウェイブホール)で第27回定期演奏会を開催しました。3連休の中日の日曜日にも関わらず、320名を超える方々に御来場いただきました。夏のコンクールで演奏した課題曲「勇気の旗を掲げて」



OB・OGも一緒に迫力ある演奏をしました=ウェイブホール

途中、サプライズで本校のK教諭がマツケンに扮してキラキラの金色の着物を着て登場!生徒会の役員とともにサンバを踊り、会場を大いに沸かせました。また、恒例の現部長から新部長へのタクトの引き渡しも行われ、波佐見中学校吹奏



マツケンサンバで会場も盛り上がりました!

楽部が新たな歩みを始めたことを感じました。

また、銀河鉄道999では、高校生のOB、OGが20名以上ステージに上がり、合同で迫力ある演奏を行いました。

部員たちを取り巻く多くの方々との「つながり」が、今の波佐見中学校吹奏楽部を支えてくれて、活動を盛り上げてくれていることを改めて実感しました。そして、そういった方々に本当に「感謝」しなければならぬと思います。アンコール2曲目の校歌。

これにも思わず目頭が熱くなりました。今回の定期演奏会の成功は、生徒たちの頑張りはもちろんですが、ここまで準備・指導をしてきたI教諭とM教諭、保護者会の皆様のおかげです。本当に感謝をありがとうございます。プラウオー!です。

暑さにも負けず! 体育大会総練習

9月22日の体育大会に向けての総練習を18日に行いました。吹奏楽部の演奏とともに、各集団の入場行進

開会式、そして競技種目の確認や各係の動きの確認などを、ひと通り行い、うまくいかない点を修正しました。本日に暑い中の総練習

となったので、途中、エアコンを入れた教室に戻って、給水・塩分を補給するクーリングタイムを30分取るなど、生徒と教職員の安全を第一に配慮しながら実施しました。

今回の総練習のなかでも心打たれたシーンがあ

りました。それは、各学年の種目の退場の確認の場面でした。最初、1、2年生は退場後の解散がバラバラしていました。そこで、3年生に退場の仕方のお手本を示してもらいました。そうすると、そのあとの退場は、3年生のお手本通りに見事に修正されました。3年生の先輩としての存在の大きさ、後輩が先輩を見習う素直さや謙虚さ、波佐見中学校全体としての教育力のすごさを改めて実感しました。

22日は降水確率が高い予報ですが「晴れてください」と念を込めながら、スマホの天気予報を眺めています。



1年生全員リレーのアンカー

校長日記

ちよつと国語の先生らしく。この時期、文化庁から「国語に関する世論調査」の結果が発表される。世の中の言葉の変化の様子や、もともとの言葉の使い方とは異なる使い方をしていく(流されている)自分にも気づく▼「もふもふ」「さくつと」「ぎゅんぎゅん」この辺はなんとなくわかる。「うがった見方をする」は「疑ってかかるような見方をする」×。「失笑する」は「笑いも出ないくらいあきれ」×。おっと、私はこんな風に使っていた。正しくは調べてみてください▼清少納言の時代「をかし」は「趣がある」だし「うつくしきもの」は「小さくかわいもの」という意味で今とは使い方が異なる▼月並みではあるがやはり「言葉は生き物」だし自分の思いを伝えるツール。その言葉に触れる読書。不読率60%の数字が同調査にあった。みなさん読書の秋はいかが?